

生分解性マルチの効果確認試験

JA大樹町

相良 誠



1.右:試験区 左:慣行区 6月22日撮影



2.試験区 6月22日撮影



3.慣行区 6月22日撮影



4.試験区 7月27日撮影

試験目的

生分解性マルチの効果確認試験

試験作物 及び品種

大根(つや風)

試験資材 及び数量(規格)

コーンマルチⅡ(0.015mm×135cm×400m) 1本 黒 無孔

慣行資材

サンバイオ、キエ丸

栽培方法

播種日
5月19日

収穫日
7月21日

【栽植密度】
畝幅：45cm
株間：22cm

資材使用期間

5月19日

試験区面積

0.6反

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

展張作業・鋤き込み作業ともに問題なく、慣行品との違いは感じられなかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

慣行品よりも薄いが生育差は見られなかった。保温性も問題ないと思う。

(3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

秋時点での分解速度に違いは感じられないが、来春に改めて分解状況を確認したい。

(4)保温効果について

特に差は感じられなかった。

(5)雑草・病害虫の発生について

特に差は感じられなかった。

モニター感想

慣行品と同じように使用したが展張作業・生育・鋤き込み作業ともに遜色なく、問題なく使用することができた。

薄くても品質に問題ないことがわかったので、慣行品よりも安価であれば使用を考えたい。

JA担当者の感想(農産販売課 種田 氏)

これまでも慣行品(0.018mm)より薄型のマルチ資材について試験を行ってきたが、作業性に問題があり、利用には至らなかった。

本資材は作業性・作物生育について慣行品との差が見られず、薄型マルチの実用性が向上していると感じた。

使用に問題はなかったため、慣行品より安価であれば利用を考えたい。また、生産者はより安価で分解性の良いマルチを求めているため、より良いマルチ資材があれば試験を行いたい。

今後の使用について

継続して使用したい。
慣行品よりも安価であれば使用を考えたい。

1 高温対策

2 青虫忌避効果

3 調光フィルム

4 シンチコート

5 クリネート

6 マルチ

7 不織布

8 育苗資材

9 酪農資材

10 その他